

資料6 建設委員会のご意見と区の考え

		ご意見	区の考え
1	第1章	<p>○6章の実現化に向けての区民アンケートについて、「土地利用」は他の5つの部門別方針と違い区民にあまりなじみがないため、回答も高いポイントにならないのではないか。アンケートで具体的にどのような質問をしたのかを教えてください。</p> <p>また、モニタリング指標では「地区計画数・面積」を指標としておいているが、再開発等、ある程度まとまったエリアで地区計画が策定されると、数字が一気に上昇すると思うがそれについてはどう考えるのか。</p>	<p>○第1章 1-3 まちづくりの成果と今後の課題において、部門別の6つの方針について、実際に行ったアンケートの具体的な内容を記載しており、土地利用方針については、「地域特性に応じた多様な市街地の形成」、「土地利用の誘導に関する取組」、「建築物の高さに関する取組」の3つについて、今の満足度とこれからの期待度に対する意見を収集しております。</p> <p>○なおアンケートでは、各取組が具体的にどのような取組を示しているのか、例示を示すことでよりイメージをもって回答いただけるよう工夫をしました。</p> <p>○一方で土地利用という言葉が一般の方にとって分かりづらいということをご指摘のとおりだと思いますので、意見の収集については、そのような視点も踏まえて注意していかねばならないと考えております。</p>
2	第1章	<p>○これから人口が増えるに当たって不安材料が多いが、都市マスタープランだけではカバーできない課題もあるため、今後はそのことについても横断的な視点やDXの推進によりしっかりと追いかけて行って欲しい。</p>	<p>○人口増加の中どのようにインフラ整備を行っていくのかは非常に重要な視点だと思います、都市マスタープランの見直しにおける重要な横断的な3つの視点の1つとして、人口構造変化への対応を記載しております。</p> <p>○部門別の方針の中では、人口増加が続く中でも生活の質をどうやって向上させていくのか等の人口構造変化への対応の視点については、アイコンを付して整理し、関連する個別計画についてもそのような内容を踏まえながら検討していくことになるかと思っております。</p>
3	第1章	<p>○2050年のカーボンニュートラルを目指して環境に優しいまち、そして防災に強いまちをつくっていくことは、どこの都市においても皆さん最大の課題であり、避けては通れないものであると考えるため、もう少しそこに重点を置いてもらいたい。</p>	<p>○都市マスタープランの重要な3つの横断的な視点の中に脱炭素社会への対応と大規模災害への対応を掲げております。</p>
4	第1章	<p>○45ページの住宅・住環境のところ耐震化率の状況、一般住宅のグラフがあるんですけども、51ページの防災のところでも、これは一般住宅だけではないんですが、耐震化率の推移の同様のグラフが出てきますが、51ページのこちらの防災のほうは、以前は不燃化特区の実績でした。そのほうが重なりもなくっていいのではないかと。</p>	<p>○防災におけるこれまでの成果のグラフについては、住宅以外も含めた耐震化率の推移を掲載しております。</p>
5	第1章	<p>○6章の実現化に向けての中に区民アンケートにおける部門施策の満足度と期待度をまとめたグラフを載せているが、どの地域においても防災まちづくりが一番区民の期待度が高いことが分かる。能登方面の地震もあり、区民の意識もさらに高くなっていると思うため、この災害対応についてはしっかり強調してもらえればと思う。</p>	<p>○防災については、見直しにおける横断的な3つの視点の1つに大規模災害への対応をあげており、部門別の方針の防災まちづくり方針においても平時のまちづくりや復興に向けたまちづくりなどの記載を増やしており、そのような視点を重視して都市マスタープランを見直しております。</p>
6	第1章	<p>○神田川を生かす取組みや飯田橋周辺の再開発など様々なテーマにおいて、近隣区との連携が重要になると考えるが、都市マスタープランでどのような展開をしようと考えているのか。</p>	<p>○1-4 東京における文京区の位置づけ・役割において、上位計画になる東京都の都市計画区域マスタープランにおける拠点位置などを示しております。</p> <p>○東京都の全体的な計画を踏まえて、近隣区とも調整しながらまちづくりを進めていきたいと考えております。</p> <p>○また、第3章の将来都市構造図において、隣接区との連携を踏まえ、隣接区の都市計画マスタープランにおける拠点位置を追加しました。</p>
7	第4章	<p>○マナーやルールを守らない自転車利用者も多く見受けられるため、指導というのは難しかもしれないが何かしら対応をお願いしたい。</p>	<p>○部門別の方針の道路・交通ネットワーク方針において、誰もが安全で快適に歩くことのできる歩行空間の整備や自転車活用の推進をあげており、都市マスタープランとしても歩行者及び自転車については重要な視点と考えております。</p>

ご意見			区の考え
8	第4章	○飯田橋周辺の神田川の活用について、日本橋近辺や墨田川などでの水辺環境等の観光資源としての有効活用をみると、文京区においても水路を使った観光事業等に関する内容の記載も検討いただきたい。	○部門別方針の緑と水のまちづくり方針の中で、神田川沿いにおいては、斜面緑地や水辺を楽しめる空間づくりを進めると記載しております。
9	第4章	○第1章で整理している課題に対しての解決策がどこで示されているのかわかりづらい。課題に対して、今後どうしていくのかを具体的にどこかに示して欲しい。	○まちづくりの成果と今後の課題で掲げる内容は、部門別の方針と対応させており、そこで都市マスタープランとしての方針を示しております。具体的な解決策については、関連する個別計画等で検討されるものと考えています。
10	第4章	○土地利用の配置方針において、公益施設・大学等教育施設と公共施設を意図的に分けて掲載しているがその狙いを伺いたい。 ○また、公共施設の説明にある「緑化などグリーンインフラの活用」について、今般、国でも都市緑化法等改正案の検討がされていることや脱炭素にもつながる取組みになると思い非常に重要だと考えているが、この点について伺いたい。	○2011年版では公共施設と公益施設・大学等教育施設は同じくくりで記載されていましたが、ユニバーサルデザインや脱炭素、グリーンインフラなど他の施設と比べて先導的な役割を果たしていく必要があるということで、公共施設を分けました。 ○みどりについては、近年様々注目されている内容であり、将来都市構造図でみどりの保全と拡充を図るため、みどりの拠点位置付けたことと、ハード・ソフト両面から自然環境が有する多様な機能を発揮していくというグリーンインフラの視点は、様々な計画の中で盛り込まれていることを踏まえ、先導的な取組みの一例として記載しております。
11	第4章	○都市計画道路について106ページで、千川通り（補助79号線）について、都からも計画変更を具体的に示されているので文言を変えなくていいのか。	○都市計画道路の千川通り（補助79号線）については表現を修正します。
12	第4章	○環状3号線については、先ほども御説明がありましたけれども、区民が既に反対の意を示してきたのに、地域と区民の理解が得られる計画になるようというふうな意味合いでは、かつて意見を都に上げてきた区の姿勢とも矛盾するのではないか。	○環状3号線については、地域や住民の理解が得られるような計画にしていきたいということをお示ししています。計画をお示しできる段階になったら、区としてもそういった観点から協議をしていくということになります。
13	第4章	○最後に120ページの景観形成の方針図なんですけれども、87ページの将来都市構造図と似過ぎているので、何を示したいのかちょっと差別化することで、例えば緑といったら緑だけの特化した地図になっているので、ああ、これは緑の部分を示しているんだなというのが図でも分かりやすいんですけども、あまりに似ているので、差別化をして意図をはっきりさせたほうがいいのではないかなというふうに思ったので、そちらのほうは検討してください。	○景観形成の方針図に記載している内容は、景観計画における景観形成基準に対応するものになります。景観形成基準において都市マスタープラン上の都市拠点なども関わってくるため、どうしても内容が重なる部分も出てきてしまいます。
14	第5章	○大塚五丁目、六丁目地区では、住環境の改善や防災性向上を図っていくこととしているが、実態として建替えが進んでも密集や細街路の拡幅が進んでいない側面もある。区のやる気や姿勢はいつも感じ取るが、もう少し一つの打開策を見つけていければと考えている。	○大塚五丁目、六丁目については、地域別の方針の山の手地域中央のまちづくり方針図において、細街路拡幅整備事業や建築物の耐震化・不燃化などにより、住環境の改善や住宅の防災性を向上させることを記載しております。具体的な内容については、関連する個別計画等で検討されるものと考えています。
15	第6章	○協働によるまちづくりの推進に関するページがすごく充実してきたのでそこは評価したいが、その実現のために区民が情報を集めたり、課題を把握したり、目標を理解することが役割分担として記載されているが、ハードルがかなり高いのではないか。	○第6章の実現化に向けての協働によるまちづくりの推進における、区民等と区の協働によるまちづくりの推進の図で示すとおり、地域からこのようなまちづくりをしたいという相談があれば、窓口や電話での相談、職員やコンサルタントの派遣や必要な事業費等への助成等、必要に応じた総合的な支援を行いながら、区民等と区の協働でまちづくりを進めていきたいと考えております。 ○また、具体的な区民等が主体のまちづくりとして地区計画や都市計画提案制度、エリアマネジメント等を例としてあげるなど、見直しにおいて、区民等が主体のまちづくりの推進に関する内容に厚みを持たせております。

ご意見			区の考え
16	第6章	○都市マスタープランは文京区全体の計画であるため、都市計画部のアンケートだけでなく、各所管で実施している色々な区民を対象にしたアンケートも反映されるべきではないのか。	○都市マスタープランの関係計画を各所管との連携のため、都市マスタープランの進行管理の項目にまとめております。 ○一方で公園が不足しているという問題などについては、緑と水のまちづくり方針において、「公園の整備等においては、坂の多い文京区の地形を生かし、立体都市公園制度の活用などを検討しながら、公園面積の拡充に努めます」のように全体の方針を示しており、バリアフリーについても同様ですが、具体的な内容は個別計画などの中で検討していくこととなります。
17	第6章	○部門別方針やまちづくりの実現に向けた多様な手法の活用などにおいて、デジタル技術とデータ活用について3Dを活用した取組みへの言及があるが、この点について詳しく伺いたい。	○まちづくりの実現に向けた多様な手法の活用において、デジタル技術とデータ活用によるまちづくりの推進として、3D都市モデルの整備・活用・オープンデータ化を記載しております。また、部門別の方針において、道路や緑、公園などについても3D都市モデルに関する記載を行っております。 ○3Dモデルの推進は国が進めており、これらのモデルを様々な自治体で用いております。見直しの目標年次に向け、国の方針を踏まえ、3Dモデルの活用の検討・研究が必要であると考え、今回の見直しにおいて追記しました。
18	第6章	○以前3Dの技術について視察を行い、非常に便利だと思ったが、例えば小石川図書館と竹早公園の一体的な再整備の検討などにおいても3Dが使えると本当に分かりやすく進められるのではないかと考えるため、ぜひ早いタイミングで活用できるようお願いしたい。	○3Dモデルの具体的な導入には一定の時間も必要かと思われるので、それまでは、パースのようなイメージなどを活用しながらより分かりやすい説明をし、将来的に3Dの活用を検討していきたいと思っております。
19	意見収集	○パブリックコメントがなぜ報告事項の資料に入っていないのか。次回からは添付をお願いしたい。	○パブリックコメントについては、6月の定例議会において中間まとめ（案）として報告し、7月にパブコメ及び説明会を開催し、9月にホームページ上に既に公開済みであり、時間が空いているため、今回の資料としては添付しておりません。
20	意見収集	○中間まとめ（案）時点のパブリックコメントでは、地域別の方針はあるものの行政側の一方的な必要性や将来の姿が描かれているだけであり、そこに住む区民がその地域において何を重視し、何を不満に思っているのか分からず、そうした住民の実態に沿った必要性や将来の姿であるのか不明ですといった意見があったが、そのような地域ごとの具体的な内容はあまりなく、計画に反映できているのか心配だがいかがか。 ○地域別の方針では、地区のデータなどを掲載しているが、もう少し細かい意見や地域課題を拾えるスキームが欲しいと思う。	○中間まとめ（案）については、素案で再度パブリックコメントを行うことも考慮し、たたき台として作成したため、意見を出来る限り反映したいという思いから多くの回答が、検討していきま、となっております。 ○500件を超える意見の中で何件を反映したというような集計は行っておりませんが、例えば、飯田橋を文京区の南西の玄関口としてふさわしい記載をして欲しいや湯島三丁目について、防災・防犯上の課題の解決につながるまちづくりをして欲しいなど様々な意見がある中で、新たに都市拠点を設定するなど対応できる内容については出来る限り反映したと考えております。
21	意見収集	○具体的にパブリックコメントの中からあった意見を伺うが、地域別の方針はあるものの行政側の一方的な必要性や将来の姿が描かれているだけであり、そこに住む区民がその地域において何を重視し、何を不満に思っているのか分からず、そうした住民の実態に沿った必要性や将来の姿であるのか不明ですとあり、中間まとめ（案）時点のパブリックコメントを読んでも、そのような地域ごとの具体的な内容はあまりなく、計画に反映できているのか心配だがいかがか。	○アンケート調査や区民公募の方も参加される協議会での意見に加え、地域ごとの人口や土地利用などのまちの状況を定量的に整理・分析した内容をまとめております。 ○パブリックコメントを2回に分けて行い、説明会についてもパネル展示を用いたオープンハウス型で10時から16時にかけて中間まとめと素案合わせて7日間開催して意見をまとめております。 ○実際にパネルを展示しながら個別に説明する説明会を開催してみると、具体的にこの公園がこうだから困っているなど、住民の方の地域特性に応じた身近なご意見が多かった印象があります。 ○都市マスタープランに係る大きな方針については参考とし、各個別計画で検討する内容については、所管課に伝え庁内で共有しております。

ご意見			区の考え
22	意見 収集	<p>○パブリックコメントにもあったが、高校生アンケートをとったり、子ども版の都市マスタープランをつくるなど、子どもの視点も取り入れていただきたい。子どもに伝わるように作られれば、都市マスタープランへのハードルも下がり、分かりやすくなれば大人も理解が進むと思うので検討してください。</p> <p>○また、進行管理や検証についてはも協議会だけでなく、区民・住民がチェックする仕組みを両輪で走らせることが出来るようにお願いしたい。</p>	<p>○子どもの視点については、素案のパブリックコメントにおいては、小学4年生から中学3年生が学校支給のタブレットで回答できるように周知を行い、専用のホームページを作成し、説明会で使用したものを10分にまとめた短縮版の動画を作成することで、意見回答のハードルを下げました。</p> <p>○進行管理や検証については、都市マスタープランの進行管理のページに記載の通り、次期都市マスタープラン改定の前年度に有識者や区民等が参加した会議体やアンケート調査等にて、区民等の意向把握に努めてまいります。</p>